

2021年11月22日 第398号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動実行委員会「19日行動」に1000人が参加

市民と野党の共闘をさらに成熟させよう！

改憲発議、必ず止めよう！



総がかり行動実行委員会は11月19日夜、国会議員会館前で「改憲発議反対！辺野古新基地建設反対！敵基地攻撃能力保有反対！11・19国会議員会館前行動」を行い、1000人が参加しました。総選挙で市民と野党の共闘の力が十分発揮できず、野党の議席を伸ばすことができなかつた悔しさをバネに、参議院議員選挙にむけてがんばることを決意しあう行動になりました。社民党の福島瑞穂参議院議員、

日本共産党の笠井亮衆議院議員、立憲民主党の石垣のりこ参議院議員があいさつしました。

戦争をさせない1000人委員会の竹内広人さんが主催者あいさつを行い、総選挙の結果にふれつつ、「小選挙区の勝利なくして勝利はない。1対1の構図をつくることに間違いはない。自己満足でなく、共同の手法をさらに成熟させることが重要。立憲主義、民主主義を立て直す取り組みをすすめよう」と呼びかけました。

オール沖縄会議の福元勇司さんはオンラインで、「岸田首相は自分に従う人の話ししか聞かない。アベガ政治と同じだ。民意をないがしろにしている。辺野古の埋立てに遺骨が混じった土砂を使うなど人道上あってはならないこと。平和といのちと人権を守り、憲法を生かした政治を実現し、政府の暴走を止めよう」と訴えました。

改憲問題対策法律家6団体連絡会の大江京子弁護士は、「野党共闘が小選挙区で一定の成果をあげたのは事実。参議院選挙のたたかいは切られた。落ち込んでいる暇はない。中国の危険な動きなどがあるが、政治が平和的な外交努力をすべきだ。憲法に基づく政治を実現させよう」と呼びかけました。東本久子さんは、東京8区で市民と野党が共同したたたかいについて話しました。

憲法9条を壊すな！実行委員会の菱山南帆子さんが行動提起を行いました。

当面の行動

- 12月1日(水) 憲法共同センター等 大軍拡に反対する院内集会 14時～参・議員会館会議室(オンライン併用)
- 12月6日(月) 総がかり行動 臨時国会開会日行動 12時～ 国会議員会館前
- 12月9日(木) 憲法共同センター 「9の日」宣伝 12時～ 新宿駅西口
- 12月14日(火) 総がかり行動 ウィメンズアクション 18時～ 有楽町イトシア前
- 12月16日(木) 総がかり行動 街頭宣伝 18時～ 新宿駅西口